

在宅・福祉、老後の住まいづくりを考える

＝「住む力」をいかす地域生活空間をつくる＝

年金の目盛り、介護保険サービスの削減や消費税増税など、老後の病気、要介護となる不安は誰しも抱いています。いま、安心・安全にくらせる「住まいの介護力をどう高めるか」「地域の支えあいをどう高めるか」講演会では国立研究機関で研究している講師のお話をお聞きし、一緒に考える機会とします。ぜひ、お誘いあわせご参加ください。

と き：11月9日(土) 午後2時開会 1時30分開場

ところ：四谷地域センター 12階・多目的ホール

新宿区内藤町87番地 四谷区民センター

電話 03-3351-3314

参加費：700円 新宿区民、学生は500円（資料代含む）

講師：阪東美智子氏



現在、国立保健医療科学院生活環境研究部 上席主任研究官・博士（工学）。

海外協力隊、兵庫県立福祉まちづくり工学研究特別員、国立公衆衛生

研究員、主任研究官を経て2015年より現職。

著書（共著）「児童相談所一時保護護所の子どもと支援—子どもへのケアから行政評価」

「これからの住まいとまち—住む力をいかす地域生活空間の創造」

会場案内図



地下鉄 丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩5分

都バス 品97新宿駅西口～品川車庫

「新宿一丁目」バス停より徒歩1分

【主催】NPO 法人建築ネットワークセンター

新宿区早稲田町74 鱒淵ビル301 TEL 03-6457-3178

e-mail: kenchiku@d2.dion.ne.jp FAX 03-6457-3179

【後援】新宿区

【共催】生活協同組合・消費者住宅センター、国民の住まいを守る全国連絡会